受　　付

7：00～（於：正面玄関前）

会　　議

7：40　監督者会議（於：雨天走路）
※各クラブの監督者１名は、必ず参加して下さい。

開　　会　　式

※競技者は、必ず全員参加して下さい。

8：25　選手・役員整列
8：30　開　式　通　告
　　大会長挨拶
　　競技上の注意

8:40　選　手　宣　誓
8:50　閉　式　通　告
　　選手・役員退場

注　　意　　事　　項

１．この大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則と本大会ルールによって行う。
２．プログラムに訂正がある場合は、受付（正面玄関前）に午前８時００分までにまで申し出ること。ただし、競技者の変更はできません。
３．ナンバーカード（男子は黒色、女子は赤色）は胸と背の両方に、はっきり見えるように着けること。
４．競技者は招集所で必ず招集すること。招集所は１００ｍスタート側の雨天走路内に設置する。
招集締切時刻（集合時間）に遅れないこと。（※競技日程の（　）内の時刻までに、その種目の受付をすませて招集所で待つこと。）ただし、女子１０００ｍの出場者は、開会式終了後、ただちに招集所に集まること。
招集所に審判補助員を多く配置し、競技者の腰ナンバーカード着けを補助します。つきましては招集所には、競技者のみで入場して下さい。
※　郡市に１枚だけ貸与するビブスを着用し、招集場所のみ入場できます。ビブスは監督者会議終了後に出口で郡市名と氏名を記入し、受け取って下さい。
５．トラック競技者は、招集所で配付された腰レーンナンバーカードを右腰に着用すること。レース終了後、所定に必ず返却する事。
６．履物はシューズ、またはスパイクシューズ（素足での競技は禁止）とする。スパイクシューズは、オールウエザー用とし、ピンの長さは、トラック競技で７mm 以下、フィールド競技で９mm 以下とし、先の尖ったピンは使用不可とする。
７．　スタートの合図は日本語で行なう。
　スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。

なお、スタートは同じ競技者が２回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。

８．リレー競技におけるテークオーバーゾーン手前１０ｍの補助ゾーンは、使用できる。

９．リレー予選のオーダー用紙・友好１００ｍ競技者は、１０時２０分までに招集所に、決勝のリレーのオーダー用紙は予選終了後ただちに招集所に提出すること。

10. 出場資格で、1クラブよりのリレーチーム数を２チームまでとしたが、大会出場者は、あくまで申込したチーム名とし、もう一つのチームには如何なることがあっても出場が出来ない。

11. リレーで、大会当日４名に足りない場合は、リレーに出場できない。その場合、リレーに出場しない参加申込者は友好１００ｍに出場が出来る。

12. ８０ｍハードルは、ハードルの高さ７０㎝、ハードル間７ｍ、ハードル９台、スタートから第１ハードルまで１３ｍ、最終ハードルからゴールまで１１ｍとする。

13. 走幅跳で３回の試技後、上位８人に残らなかった競技者は、招集所まで誘導する。

14. 走高跳はマットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。

15. 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

男子　１ｍ００㎝（練習）１ｍ０５㎝　１ｍ１０㎝　１ｍ１５㎝　１ｍ２０㎝　１ｍ２５㎝　１ｍ３０㎝　その後は３㎝ずつとする。

女子　９５㎝（練習）１ｍ００cm　１ｍ０５㎝　１ｍ１０㎝　１ｍ１５㎝　１ｍ２０㎝　その後は３㎝ずつとする。

16. ジャベリックボール投の試技は３回とし、競技場に付帯するボールを使用し、やり投ピットを使用し（投擲角度も同じ）、助走距離は１５ｍ以内とする。

17. ジャベリックボール投の禁止事項は、羽を持っての投てき及び回転投げとする。

18. 決勝の１位で同記録の場合は、着順をつける。また、各種目は８位まで表彰する。

19. 各種目（４年男女１００ｍと１０００ｍを除く）の１位の個人・チーム５名が、入賞待機場所時に監督または、代表者１名（全国小学生陸上競技交流大会出場への有無を確認できる人）と同伴する。

各種目（４年男女１００ｍと１０００ｍを除く）の１位の個人・チーム５名は、全国小学生陸上競技交流大会出場の打ち合わせ会を閉会式終了後に行うので必ず出席の事。

20. 抗議は TIC で抗議受付を行なう。受付後，競技役員の指示に従い、移動はしない。

21. 選手は、審判員、監督の指示に従い、勝手に競技場から離れないこと。諸般の事情により競技時刻や実施方法の変更等もあるので、アナウンスや審判員の指示に従うこと。

22. 練習中、競技中は危険のないように十分気をつけること。

23. 競技中に起きた選手の傷病、疾病については、主催者は救急処置を行うが、その後の補償は、傷害保険（死亡・後遺障害:100 万円・入院/日:1500 円・通院/日:1000 円）に基づく。

24. 各監督者は、競技開始前の監督者会議に参加する。また、補助競技場内の用器具の使い方の指導や後片付け、整理整頓も行う。

25. 競技終了後、選手及び関係者は、競技場内や補助競技場内のゴミ拾いと掃除をする。

26. 各チームでスタンド内に、テントを建てられる場合はスタンド中段通路より上側で設置下さい。また、他の観客に迷惑の掛からないよう十分に気をつけて下さい。

27. 大会当日の競技場での練習は開門より午前８時１５分までとする。補助競技場での練習は開門より午後３時００分までとする。練習に際し，マナーを守るよう選手へ指導し、どちらの会場でも観察者を必ずつけて下さい。